

小布施町食と農の目覚まし事業

施策のポイント

ブルムリーや酸果桜桃といった省力的で魅力ある品種の産地化を推進するため、新製品の開発、クッキングアップルフェアの開催、新品種の苗木導入農家への苗木代補助等を行う。

自治体情報

長野県小布施町

人口 / 11,450人

標準財政規模 / 3,062,000千円

担当課 地域創生部門産業振興グループ

電話番号 代表 026-247-3111 内線 273

実施主体 小布施町

関連ホームページ

事業期間 平成 22 年度

参考とした施策

関係施策分類

施策の概要

1 取組に至る背景・目的

英国生まれのクッキング・アップルの代表的品種「ブルムリー」を活用した新しいクッキング・フルーツという食文化を構築し、信州小布施グルメブランドを確立する。

また農業従事者の高齢化の中で、伝統的な町の顔である栗産地の活性化と省力的でかつ新しい地域食材として需要の拡大が期待できる桜桃新品種の産地化を図る。



2 取り組みの具体的内容

(1) 調理りんご「ブルムリー」産地化推進

老舗果実専門店との連携で、ブランド化のためのギフト専用箱や名称・ロゴ・各種パッケージデザイン等を開発する。さらに新製品開発として通常のジュースやジャムだけでなく、考えられるあらゆる加工品（より高付加価値のジュース、ジャムを含む）の開発を行う。

小布施町での加工施設、飲食店、お菓子屋、パン屋等との連携によるこだわりの高付加価値商品・料理をワークショップの開催により試作検討し、グルメブランドを確立する。さらにブルムリー導入20周年記念“クッキングアップルフェア”を実施する。

(2) 新品種「ぼろたん」等栗優良品種の低樹高・密植栽培技術確立

新品種「ぼろたん」は日本栗の欠点である渋皮を剥く煩雑さを克服した画期的な新品種である。早生種から晩生種まで、優良品種やクリタマバチ抵抗性の高い伝統的な「小布施2号」の計画的な植栽により、栗栽培の経済性の向上と高齢者でも作業が楽な低樹高・密植栽培技術の確立を図り、りんごとぶどうに偏重している地域の果樹産業の活性化を図る。

(3) 酸果桜桃（チェリーキス）の栽培普及実験

生食用の果汁の甘い甘果桜桃と比べて、摘果や剪定作業が2分の1ほどの手間で済み、裂果の要因になる降雨にも強く従って施設も要らないため、耕作放棄地等を活用した産地化が期待できる。実需者も洋食屋、ケーキ店、ジェラード屋に加え、種ごと漬して発酵、蒸留して作るシェリー酒やチェリーブランデーなど果実酒業者からも期待されている。

3 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

- ・ ブラムリー栽培面積の拡大によるりんご経営の安定と観光客の増大
- ・ 新品種「ぼろたん」等栗優良品種の低樹高・密植栽培技術確立
- ・ 酸果桜桃（チェリーキッス）の栽培普及

4 現在までの実績・成果

平成 21 年度より老舗果実専門店での「ブラムリーフェア」を実施し、消費者の動向を研究している。

5 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

第三次産業としても高い成果が得られるよう、企業とのコラボレーションに取り組んでいる。

6 今後の展開と課題

現在、ブラムリーの供給が需要に追いつかない状態であり、早急にブラムリーの生産拡大を図るには、栽培管理から労働力、必要な資材、流通経費、販売単価等に基づく「経営指標」を作成し、りんご栽培農家に省力的でかつ契約販売等による、全国で小布施町だけの生産物で経営的にメリットの大きい有望品種として PR していく必要がある。



予算関連データ

総額 ①～⑤の計		財源内訳（財源区分：①～⑤）				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
5,717 千円		0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	5,717 千円
①～④の名称、 所管など	名称					/
	所管					
	金額					
	補助率					